

実施日 2025年 7月 18日(金)

施設名	鎌倉女子大学		
対象者	大学生	参加者	こども・若者 6名 教授 1名

意見を聴いた相手

鎌倉女子大学で教育や保育を学ぶ、市外在住の大学3年生の皆さんにご協力いただき、お話を伺いました。

日ごろ感じていることについて率直なご意見をいただきました。

進め方



結婚やこどもを生き育てることへの考え方や不安などについて、ヒアリングを行いました。



ヒアリングの前に、アイスブレイクを兼ねて「情報発信」と「こどもが幸せに過ごすことができる保育施設」をテーマにグループワークを行いました。

《当日の流れ》

- ・趣旨説明
- ・アイスブレイク（情報発信・こどもが幸せに過ごせる保育施設）
- ・ヒアリング（就職、結婚、子育てなど）
- ・振り返り

ヒアリングの内容



将来のビジョン（就職・出産・子育て等）について

- ・せっかく保育士の資格を取るのであれば3年くらい働いてから、結婚して子育てに専念したい。こどもの人数は2人くらいが理想。こどもと向き合いたいため、こどもが小学校に入学するくらいまで仕事はお休みしたい。
- ・幼稚園教諭を目指している。20代後半に結婚、出産をして、一定期間、育休を取り、その後また復帰したい。こどもは2人が理想的。子育てが続くことは大変そうなので、3人目を生む場合は少し間隔をあげたい。
- ・将来的に幼稚園と保育園の両方で働きたい。大学を卒業して、22歳で結婚して若いうちから子育てをしたい。私立より公立の方が、産休・育休制度が充実しているイメージがあるので、公立の幼稚園と保育園で働きたい。
- ・26歳くらいで結婚して育休を取り、子育てが落ち着いた後、また働きたい。
- ・就職先は、保育園か幼稚園で迷っている。子育てに関しては、虐待のことなどを勉強していると様々な不安なイメージが頭をよぎる。また、子育て自体にも大変そうなイメージがあるので漠然として不安感がある。
- ・保育士を目指している。将来、こどもは複数人ほしいと思うが、自分が大学まで通わせてもらっていることを考えると、自分のこども3人を大学に通わせることができるかという不安がある。
- ・子育てのことを考えると、大金持ちとまではいなくても、ある程度のお金がないと生活が厳しくなると思う。自分の中では、この程度は稼ぎたいという基準はあるが金銭面での不安はある。保育士は給料が安いという理由で、保育士を目指すことをやめた友達もいる。
- ・自分自身が将来のことを全然考えていないことが不安。結婚や出産はしたいという気持ちはあるが、子育てに関して不安もあるので、様々な支援が充実していると漠然とした不安感も少し和らぐと思う。
- ・実家が沖縄で親が近くにいない。2人以上こどもを育てることを考えると、同時にこどもが泣き出したときに頼る人がいないことなど不安が大きい。誰かが近くに人がいてくれるだけでもありがたいと思う。シングルマザーもいると思うから負担が減るような制度があると良い。





結婚について感じていること

- ・結婚してこどもは欲しいけど、男の人と一緒に暮らす想像はできない。
- ・結婚に対しイメージできないが、幸せそうな印象があっていいと思う。
- ・両親や祖父母が今でも仲よしだから結婚は憧れる。地元の沖縄では結婚したいと言っている人が多い。
- ・男の人と住むことや結婚することは想像できるが、男は浮気する印象があるので不安。
- ・結婚したい気持ちはあるけど、男性と一緒に住む想像がつかない。他人が自分の空間に入ってくることが嫌なので、結婚しても一緒に住みたいと思わない。仮に一緒に住むとしても自分の部屋が欲しい。
- ・現在も実家に住んでおり1人暮らしをしたことがないので実感がわからない。
- ・男性が何を結婚の判断基準にしているのか分からない。



こどもたちが住みやすいと思うまちについて

- ・公園など遊ぶところがたくさんあることが理想。公園があってもボールの使用が禁止されているところも多いので、こどもたちがやりたい遊びを自由にできる環境があると良い。
- ・都市部は建物が多く遊ぶことができる施設が少ないので、のびのびと遊べる空間があると良い。
- ・現在マンションに住んでいて敷地内に公園はあるが、騒音などですぐ苦情が入り、みんなが遊ばなくなってしまうので、周りを気にせず遊べる場所がほしい。
- ・まちにごみが散乱しているような環境だと、こどもの成長にも影響すると思うので、綺麗なまちでこどもが育ってほしい。
- ・地域でこどもを育てることが理想的だと考えている。公民館などこどもたちが集まる場所があり、地域の人たちとの関りを持ちながら成長できる環境があると嬉しい。



アイスブレイクでいただいた意見



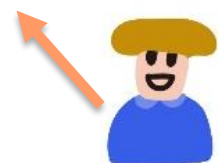
若者に伝わりやすい情報発信

- ・TikTokなどのSNSで、最初にインパクトがあるワードを出し、短い動画を発信できれば多くの人が見ると思う。
- ・リール投稿は見ることが多いので、インスタのリール投稿を載せることも効果的だと思う。
- ・SNSの広告は、最初のインパクトが大事。5秒くらいで文が付いているものが良い。最長でも30秒程度にした方が良い。
- ・字が多いと見る気がなくなってしまうので、写真や画像をうまく織り交ぜると見てもらえると思う。
- ・最近は、BeReal(ビーリアル)も人気が出てきている。

こどもが幸せに過ごせる保育施設

- ・こどもが求めるもの、やってみたいことをやらせてあげる自由さがある施設が理想的。
- ・勉強など詰め込みすぎず、こどものやりたいことを尊重する方針が浸透している施設が良いと思う。
- ・保育士配置基準が改正されたが、25人でも大変だと思うので、1人がみる人数を少なくして、1人1人に目が行き届く環境になると良いと思う。
- ・保育士の給与が低い印象がある。人材の確保が難しくなると、理想とする保育方針があったとしても実現が難しくなってしまうので改善されると良いと思う。
- ・身近に思い切り遊べる公園があるなど、自然環境に恵まれている施設。
- ・安全に対する配慮がなされている施設。

いただきましたご意見は、市の担当課に伝えるとともに、こども・若者に関する取り組みについて話し合う「茅ヶ崎市こども計画推進会議」や「茅ヶ崎市こども政策審議会」とも共有し、こども・若者の視点に立って市の取り組みを推進します！



実施日 2025年 11月 11日(火)

施設名	香川保育園		
対象者	未就学児	参加者	こども・若者 20名 先生 2名

意見を聴いた相手

香川保育園に通う児童（年長）のみなさんからお話を聴きました。

進め方



本日の取り組みの目的や実施事項、市役所がどのようなことをしているか、現在、市がこどもの意見を聴く取り組みを推進していることなどを簡単に説明しました。



班に分かれて、「好きな場所」や「こんな世界になったらいいな」などのテーマで絵を描いてもらいながら、職員が絵の理由等について、ヒアリングを行いました。

「自分が描いた絵をみんなに伝える時間」と「みんなが描いた絵を知る時間」として、自分が描いた絵をみんなに見せながら、何を描いたのか、なぜその絵を描いたのか等を発表しました。



《当日の流れ》

- ・趣旨説明
- ・絵を描く&ヒアリング
- ・発表
- ・振り返り

ヒアリングの内容



あなたが好きな場所

- ・トンネルがあって遊べる公園。大きな穴があって穴の中でも遊べるから好き。
- ・たくさん揺れるブランコが好き。
- ・海と船が好き。雷にも強い船がたくさんあって、サメや赤ちゃんサメがたくさん泳いでいるような綺麗な海が好き。
- ・家族で誕生日を祝える家。テレビにはお花畑が映っている。
- ・家(虹が見えるから好き)。
- ・あそびマーレ(ユーフォーキャッチャー、空気の滑り台があって楽しいから好き)。



- ・お月様が見えるイルミネーションが好き。
- ・お花畑(ちょうちょや沢山のお花が咲いていて好き)。
- ・宇宙が好き。(ロケットが好きだから)。
- ・かきのき公園(滑り台、ぶらんこがあってよく行く)。



こんな世界になったらいいな

- ・地球をかわいくしたい。男子もドレスを着る世界。
- ・たぬきのいる公園があったらいいな。
- ・家のドアを開けたらららぽーと♡
- ・海の上に家を建てて、魚を釣って生活したい。
- ・カッコいいと思えるものがたくさんあるまちになってほしい。レーシングカーがたくさん走っている街に住みたい。
- ・たくさん遊具がある公園(すべり台、ぶらんこ、鉄棒、砂場)
- ・イカと一緒にマントを付けて飛んでいる人がいる世界。





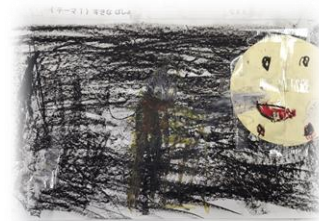
子育て支援センターをワクワクする場所にしよう

- ・図書館で借りた本を香川駅前出張所で返すことができるので便利。
- ・イオンは、クレーンゲームやマリオカートができるから嬉しい。
- ・病院で待つ時間が苦痛。
- ・遊ぶ時間が無くなるので、習い事にいきたくない。
- ・家のお手伝いがめんどくさい。
- ・自分の家では朝起きた瞬間ゲームをする。

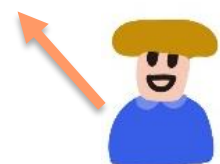


その他

- ・図書館で借りた本を香川駅前出張所で返すことができるので便利。
- ・イオンは、クレーンゲームやマリオカートができるから嬉しい。
- ・病院で待つ時間が苦痛。
- ・遊ぶ時間が無くなるので、習い事にいきたくない。
- ・家のお手伝いがめんどくさい。
- ・自分の家では朝起きた瞬間ゲームをする。



いただきましたご意見は、市の担当課に伝えるとともに、こども・若者に関する取り組みについて話し合う「茅ヶ崎市こども計画推進会議」や「茅ヶ崎市こども政策審議会」とも共有し、こども・若者の視点に立って市の取り組みを推進します！



実施日 2025年 11月 18日(火)

施設名	浜見平保育園		
対象者	未就学児	参加者	こども・若者 28名 先生 2名

意見を聴いた相手

浜見平保育園に通う児童（年長）のみなさんからお話を聴きました。

進め方



本日の取り組みの目的や実施事項、市役所がどのようなことをしているか、現在、市がこどもの意見を聴く取り組みを推進していることなどを簡単に説明しました。



班に分かれて、「好きな場所」や「こんな世界になったらいいな」などのテーマで絵を描いてもらいながら、職員が絵の理由等について、ヒアリングを行いました。

「自分が描いた絵をみんなに伝える時間」と「みんなが描いた絵を知る時間」として、自分が描いた絵をみんなに見せながら、何を描いたのか、なぜその絵を描いたのか等を発表しました。



《当日の流れ》

- ・趣旨説明
- ・絵を描く&ヒアリング
- ・発表
- ・振り返り

ヒアリングの内容



あなたが好きな場所

《市内にある場所》

- ・ 家
- ・ 茅ヶ崎の海が好き
- ・ 赤い滑り台がある公園
- ・ ボールプールがある室内の遊び場
- ・ 家の横のホテルに泊まりたい
- ・ 山があるといいな



- ・ 家族で行ったピクニックで花がきれいだった
- ・ スポーツ公園が好き
- ・ 子どもの家が好き
- ・ かき氷屋さんが近くにあるといい
- ・ アイスクリーム屋さんも好き
- ・ お祭りが好き
- ・ マクドナルドが好き

《市内にない場所》

- ・ ディズニーランド・シー、USJ、遊園地
- ・ ディズニーランドのアリエルの世界
- ・ 遊園地は好きだけど、ジェットコースターに乗せられるから行きたくない
- ・ ジェットコースター
- ・ サンリオのシナモロール、クロミちゃんが好き
- ・ いろいろな色のボールがたくさんある場所が好き



- ・空港が好き。(茅ヶ崎にもあるといいな)
- ・テレビで見たハワイが好き
- ・茅ヶ崎にもハワイアンズがほしい
- ・宇宙
- ・秘密基地
- ・ゲームがたくさんできるところ
- ・アニメが大好き



こんな世界になったらいいな

《いまの技術でできること》

- ・公園にたくさん遊具（ぶらんこ、滑り台、鉄棒）があるといいな
- ・横浜みたいになるといいな
- ・水族館が茅ヶ崎にもほしい
- ・飛行機の値段が安くなってほしい
- ・海の公園があったらいいな
- ・流れるプールもあったらいいな
- ・プールと海がつながったらいいな
- ・イルミネーションがたくさんあるまち
- ・まちに迷路があると楽しいな



《未来の技術でできるかもしれないこと》

- ・レモン星人（敵）がいるところ
- ・化け物がいて、隕石で攻撃してくる・・・
- ・海にお化け（好き）がいっぱいのまち
- ・幽霊と仲良くなれるまちに住みたい



子育て支援センターをワクワクする場所にしよう

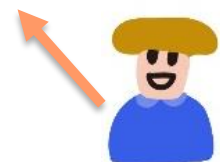
- ・透明なピカチュウが入口にいるようにする
- ・壁にカラフルな絵を描きたい
- ・看板にお花を描きたい
- ・窓と看板に、植物を描く
- ・入り口がピカピカ光るようになったらいいな
- ・カラフルだといいな
- ・お花が咲いているといいな



その他

- ・クリスマスが毎日の世界が良い
- ・飼っているハムスターには名前がない、犬には名前がある

いただきましたご意見は、市の担当課に伝えるとともに、こども・若者に関する取り組みについて話し合う「茅ヶ崎市こども計画推進会議」や「茅ヶ崎市こども政策審議会」とも共有し、こども・若者の視点に立って市の取り組みを推進します！



実施日 2025年 12月 25日(木)

対象者	レインボーキッズ		
区分	小学生・中学生・高校生	参加者	こども・若者 4名

意見を聴いた相手

レインボーキッズのみなさんからお話を聴きました。

※ レインボーキッズとは、茅ヶ崎市青少年海外派遣事業の総称です。

進め方



本日の取り組みの目的や実施事項、市役所がどのようなことをしているか、現在、市がこどもの意見を聴く取り組みを推進していることなどを簡単に説明した後、ヒアリングを実施しました。



《当日の流れ》

- ・趣旨説明
- ・ヒアリング
 - 第1部 レインボーキッズの活動に関すること
 - 第2部 日常生活に関すること
- ・振り返り
- ・アンケート、写真撮影



第1部 レインボーキッズの活動に関すること

《印象に残っていること》

- ・茅ヶ崎とホノルルの分か比較（祭り、海、シンボル（茅ヶ崎のえぼし岩とホノルルのチャイナマンズハット）などが印象的
- ・コロナで渡航できなかったが、ホノルル市長からのビデオメッセージが励みになった
- ・茅ヶ崎とホノルルは、サーファー、フラダンス、イベント内容など文化的な共通点が多い印象



チャイナマンズハットと
えぼし麻呂

《活動を通して感じたホノルルの魅力》

- ・自然（緑・海）が多く、大切にされている印象
- ・砂浜がキレイ！ ごみが少ない
- ・まち全体がカラフルでおしゃれだが、景観が自然になじんでいる
- ・現地の人々が明るく、知らない人とも気軽に挨拶や交流ができる

《茅ヶ崎にも取り入れたいと感じたこと》

- ・海岸の環境を守るための継続的な清掃や整備
- ・カラフルで遊び心があるまちづくり
- ・誰でも参加できるビーチ環境を守る仕組み
- ・音楽、芸術、文化イベントを気軽に楽しむことができる環境づくり
- ・茅ヶ崎らしさ（海、松林、富士山が見える景観、音楽）を生かしたまちづくり



《海外の人に紹介したい茅ヶ崎の魅力》

- ・ 海岸清掃など地域住民による環境保全活動
- ・ 古民家、歴史的建造物（和田家など）
- ・ 氷室椿庭園（季節の花、日本文化を感じられる）



- ・ アニメ、マンガの舞台となるロケーションは多いと思うので、取り上げてもらい聖地にする
- ・ 海と富士山を同時に見ることができる景観

《茅ヶ崎の改善点、課題》

- ・ 茅ヶ崎らしいお土産が少ない、有名なお土産がない（和菓子など「茅ヶ崎の顔」になる名物がほしい。学生からアイデアをつくるのも良い）
- ・ 観光客やこどもが楽しめる“茅ヶ崎ならではの”施設が少ない
- ・ 海岸にごみが多い（ガラスなど危険なものもよく見かける）
- ・ 姉妹都市（ホノルル）との関係を、市民があまり知らない



第2部 日常生活について

《困りごと・課題に感じていること》

- ・ 夜道が暗く、不安を感じることもある
- ・ 公園のルールが多く、ボール遊びがしづらい
- ・ 自転車での移動時に危険だと感じる場所がある
- ・ 年代によって使える場所が分かれてしまっている印象
- ・ 意見を聴いて終わりになってしまっていないかという不安がある
- ・ 商業施設以外で、屋内で安心して過ごすことができる場所がもっとほしい
- ・ こどもの意見を聴く機会はあるが、その後、どう生かされたのか分かりにくい



《日常生活で感じている「良い点」》

- ・海や公園など、自然が身近にある
- ・海岸清掃や地域活動を通して、地域と関わる機会がある
- ・放課後や休日、友人と気軽に集まれる商業施設などがある
- ・地域の人が挨拶をしてくれるなど、人との距離が近く安心感がある



《あったらいいと思う取り組み、場所》

- ・年代を問わず使える屋内の居場所（勉強・交流・休憩）
- ・こどもが自由に意見を出せる場
- ・市の取り組みについて、こどもにも分かりやすい情報発信
- ・学校外でも参加できるボランティアやイベントの情報共有

《将来の茅ヶ崎に期待すること》

- ・こどもも大人も意見を言いやすい雰囲気のみち
- ・こどもが「ここに住み続けたい」と思える環境整備
- ・自然や地域の良さを守りつつ、新しい挑戦ができるまち



いただきましたご意見は、市の担当課に伝えるとともに、こども・若者に関する取り組みについて話し合う「茅ヶ崎市こども計画推進会議」や「茅ヶ崎市こども政策審議会」とも共有し、こども・若者の視点に立って市の取り組みを推進します！



実施日 2026年 2月 26日(水)

対象者	円蔵中学校		
区分	中学生	参加者	こども・若者 14名

意見を聴いた相手

円蔵中学校の3年生が、総合的な学習の時間で取り組んだ「本市をテーマにした課題解決学習」の成果を発表する発表会が行われ、参加しました。

生徒たちは、年度当初にそれぞれのテーマを決め、テーマに沿って現場見学や市職員へのヒアリングを行いました。

1年間を通じて調査を進め、見つけた課題や解決策をスライドにまとめ、1・2年生に向けて発表しました。

進め方



3年生の生徒は9教室に分かれて発表を行いました。
市職員2名が各クラスをまわり、合計14名の発表を聴きました。



発表の内容



発表内容の一部を紹介します

市内に住む中学生が、自分たちのまちにどのような興味を持ち、どのようなことを調べて発表したのか、その一部をご紹介します。

《こどもが暮らしやすい茅ヶ崎へ》

茅ヶ崎市では、赤ちゃんが生まれた家庭に対し、市からのお祝いとしてカタログギフトを贈る取り組みを行っている。また、「こども計画（こどもまちプロジェクト 2025-2029）」を策定し、こどもの意見を積極的に聴くことに力を入れている。この計画のこども向け概要版には、意見フォームが設けられており、こどもが市にいつでも意見を伝えられる仕組みが整えられている。

《茅ヶ崎は育児しやすい街なのか》

茅ヶ崎市へ転入する人の中でも、子育て世帯が多いことに着目した。その理由として、市がこどもや子育て支援に力を入れていることが考えられる。近年では小児医療費助成の対象が高校生まで拡大された。また、こども計画（こどもまちプロジェクト 2025-2029）の策定により、市の方針が、これまでの「大人が考えるこどもの幸せ」から、「こどもの目線で考える幸せ」へと変化している。妊娠期から子育て期まで利用できる子育て支援センターをはじめ、こどもの家、こども食堂、子育てサロンやサークルなど、多様な支援の場が整備されて

《茅ヶ崎市が行っている地球温暖化対策》

茅ヶ崎市では、ごみ袋の有料化を実施し、指定ごみ袋による排出を義務付けている。これは環境への負荷を軽減し、ごみの減量を図ることを目的としている。なお、ごみ袋が黄色に指定されている理由は、カラス対策のためである。

《茅ヶ崎の魅力を正解に発信するために》

市のホームページは、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語など多言語に対応している。市の魅力を世界へ発信するためには、「観光」と「暮らし」の両面から情報を発信することが重要である。観光面では道の駅などの紹介、暮らしの面では個人経営の店舗が多く個性豊かである点などを発信することで、国内外から選ばれるまちになると考えられる。

《物価高とその対策》

駅前街頭インタビューを実施し、物価高を実感しているかについて聞き取り調査を行った。その結果、多くの人が物価上昇を感じていることが分かった。市では対策として、補助金事業や低所得世帯向けの給付金支給などの取り



《茅ヶ崎の外国人》

茅ヶ崎市に居住する外国人は年々増加している。国籍別の割合を調べたところ、中国出身者の割合が多いことが分かった。今後は、多文化共生の視点からの取り組みも重要であると考えられる。

《茅ヶ崎市に介護福祉士を増やすには》

介護福祉士は国家資格であり、志望者が増えなければ人材は増加しない。調査の結果、給与水準の低さが課題のひとつ。介護福祉士の給与は国の制度に大きく左右されるため、制度の見直しも必要である。また、仕事が大変というイメージを軽減するため、介護ロボットの導入など業務効率化への支援を国や市が進めることも重要である。

《公園の正しい使い方と近隣住民との関り方》

公園でボール遊びをされていて注意を受けた経験から、公園利用の在り方について調べた。市には騒音やボール遊びに関する苦情が寄せられており、「禁止してほしい」という意見と「こどもに使わせてあげたい」という意見の両方があることが分かった。こどもの遊び場を確保しつつ、近隣住民にも配慮したルールづくりが求められている。

《茅ヶ崎市の道路がきれいになるには》

市では道路整備プログラムを策定し、計画的に整備を進めている。安全で快適な道路環境を維持するため、優先順位を定めながら改修や補修を実施している。

《なぜ茅ヶ崎の公園は制限が多く設備が整っていないのか》

公園整備には多額の費用がかかるため、一度に多くの施設を整備することは難しく、順番に進めている。例えば、新たに公園を整備するには数千万円、ジャングルジムの設置には約1千万円が必要である。市は多様な意見を踏まえながら、誰もが安心して利用できる公園づくりを目指している。



《行動（移動）がしやすいまちへ》

身近な砂利道が舗装されていない理由を調べたところ、私道や河川管理用通路など、通行を主な目的としていない道路であることが分かった。また、「エコクリーンソイル」という環境に配慮した低コストの舗装材もあることを知り、今後広く周知していくことが有効だと考えた。

《茅ヶ崎市の動物たちは幸せに暮らせているのか》

市では、飼い犬に対して年1回の狂犬病予防接種を義務付けている。こうした取り組みは、人と動物が安全に共生するための重要な施策である。

《茅ヶ崎市にセミを増やすには》

セミが大好きなのでセミを増やす方法を調べた。その結果、特定の生物のみを増やす取り組みは生態系に悪影響を及ぼす可能性があることが分かった。そのため、セミを守るためにも、外来種の侵入防止や既存の自然環境の保全が重要である。茅ヶ崎市では、大規模な建築を行う事業者などに一定面積の緑地設置を義務付ける条例があり、自然を守る姿勢が示されている。こうした取り組みは、自然環境を守るために良い影響をもたらし、結果としてセミにとっても良い影響を及ぼすため、とても重要な取組だと感じた。



いただきましたご意見は、市の担当課に伝えるとともに、こども・若者に関する取り組みについて話し合う「茅ヶ崎市こども計画推進会議」や「茅ヶ崎市こども政策審議会」とも共有し、こども・若者の視点に立って市の取り組みを推進します！



実施日 2026年 2月 27日(金)

施設名	ひかりの子幼稚園		
対象者	未就学児	参加者	こども・若者 47名 先生 4名

意見を聴いた相手

ひかりの子幼稚園に通う児童（年長）のみなさんからお話を聴きました。

進め方



本日の取り組みの目的や実施事項、市役所がどのようなことをしているか、現在、市がこどもの意見を聴く取り組みを推進していることなどを簡単に説明しました。



4グループに分かれて、1～4のテーマについて、質問への回答をシールに貼ってもらいながら、職員によるヒアリングを実施しました。

最後に、みなさんの意見はまちづくりの参考にすること。これからも、自分やみんなが住みやすいまちについて考えて、気づいたことがあったらまわりの大人に伝えてほしい、旨を伝えました。



《当日の流れ》

- ・趣旨説明
- ・シール貼り & ヒアリング
- ・振り返り

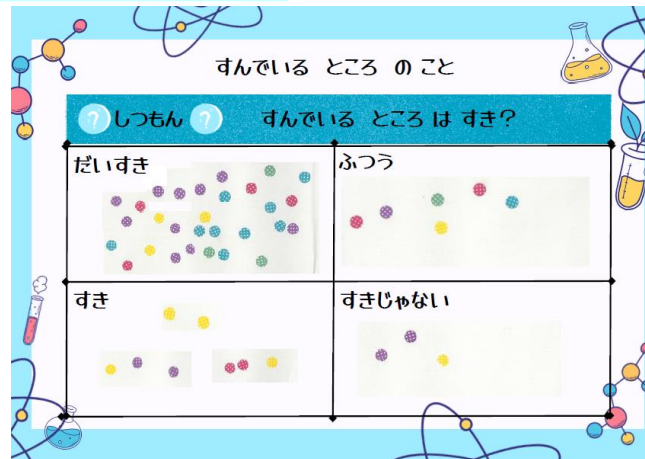
ヒアリングの内容



① まちのこと【質問：すんでいるところはすき？】

友だちの家が近い。海が近い。安心する。
学校が近い、1分で行ける。公園が近い。

赤羽根山が近くて楽しい。美味しいお店がたくさんある（サイゼリヤ・はま寿司・すき家・焼肉）海の散歩ルートにすぐ行ける。バレエを習える。辻堂めっちゃキレイ、はっぱもたくさんある。住みやすく健康になれる。



ちがさきはひま。

もっと楽しいところ
がほしい

スキー場



② 安全について【質問：こわいばしょはある？】

家の近くの道が
こわい

歩道がない場所は
こわい

おばけ、夜のトイレ、ライトがない
道路、暗い外、ゲームの中の夜は怖
くない、お化け屋敷、夜の車の中

夜トイレに行くとき
停電したとき

電気を消したとき、お化けが
いそう
夜、外から鳥の鳴き声
が聞えるとき
夜、こわいテレビを
見ているとき



暗い道は怖い
人がでてきそ
うでドキドキ
する

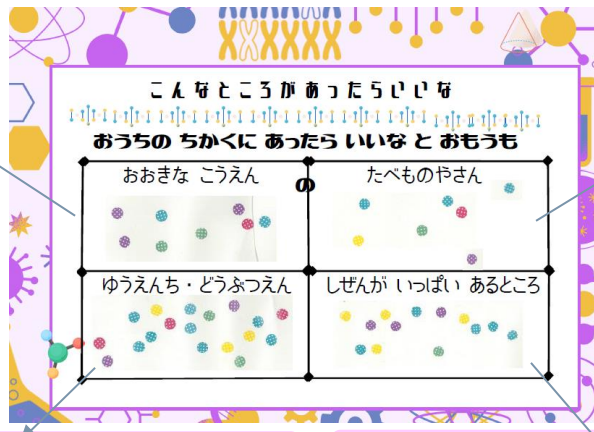
交通ルール
を守れば何
も怖くない

野生のサルは怖いけど怖い場所はない
怒ると怖い人はいる。



③ 【質問：うちの近くにあったらいいなと思う場所】

近くにないから
妹と遊びたい
すべり台が楽しい



お寿司がいっぱい
食べられる。たこ
焼き好き。誕生日
に行けるから。近
くにあると便利。

無料で入れるところ
がいい。近くにないから
いっぱい遊べる。楽し
いものがある。エサを
あげられるから。たま
に行きたい。

観覧車。ジェットコ
ースターが好き。

家族がケガをしない
で健康になれる。

地震が来たら逃げ
ることができる。
生き物がいっぱい
いて楽しい。虫と
りができる。クレ
イだから。



④ すごしかた

月
そろばん教室が
ある



日
お出かけできる。お父さんが
いる。ゲームができる。

火
ダンスがある体操
がある。遊べる。
新体操があるスイ
ミングがある

土
お父さんとお出かけできる。
サッカーができる。パパと遊
べる。Switchで遊べる。お
休みだから。

水
習い事の空手で友だちとシール交換
ができる。スイミング、ダンスがある。

木
サッカーがある。嬉
しいことがあるから。

金
好きなアニメがやっている。「金色」が好き。体操が
ある。金曜ロードショーがやっている。水泳がある。
ゲームができる。YouTube を見る事ができる。

いただきましたご意見は、市の担当課に伝えるとともに、こども・若者に関する取り組みについて話し合う「茅ヶ崎市こども計画推進会議」や「茅ヶ崎市こども政策審議会」とも共有し、こども・若者の視点に立って市の取り組みを推進します！

